

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日時 令和3年 11月

事業所名 Oasis+ぷらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・活動室でクールダウン室が必要になった利用者さんには、パーテーションや個別室を使用しながら様子を見ている。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・利用者10人に職員5人、目が行き届いていると思う。 ・職員間でその都度コンタクトをとりながら対応に努めている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	5	・玄関に少し段差があるが、今の所は気にならない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・毎朝の打ち合わせ時に、前日の振り返りをしている。 ・前日の療育の反省を翌日に行い、当日の療育内容の確認や準備など行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・今は、リモートで研修会に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・保護者の方と面談を行い、情報共有しながら作成するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・毎日の打ち合わせや話し合いで療育の質を高めている。 ・週ごとに責任者を決め、その責任者を中心に活動内容について話し合いながら計画・実行している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・記録をとりながら、バランスよく活動できるように計画を立てている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	・土曜日などは社会体験を心掛けている。事前に下見をしたりお願いに行き、安全には配慮している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎日打ち合わせを行い、充実した支援ができるようにしている。 ・打ち合わせをすることにより、自分がやるべきことなど把握してできている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・個人の支援計画記録票を書き、反省点、改善点を話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・活動日誌や個別ファイルに記録を残し情報の共有をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・学校の先生とは送迎時に子どもの様子など聞きたいことがあれば、その都度質問するようにしている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・家庭と連携を取り、話し合い等しながら進めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・保護者の話には必ず耳を傾けている。 ・送迎時に話をしたり、メールでもやり取りはしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・コロナウィルス感染症の関係で今年も実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・送迎時等に保護者から苦情があった場合は、必ず事業所に持ち帰り報告し適切に対応できるように努めている。(自分一人では対応しない)
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・送迎時やリムへの記載をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・コロナウィルス感染症の関係で今年も実施できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・二ヶ月に一度実施している。また避難場所も確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・保護者との連携を取り合い、対応を進めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・速やかに記録に残し、職員間で共有している。